

Touch

◆孤独から愛へ◆

原作：ライル・ケスラー（原題「ORPHANS（孤児たち）」）
演出：浅野佳成 訳：小田島恒志



「Touch～孤独から愛へ」（原題「ORPHANS（孤児たち）」）は、1985年にシカゴで上演され、オフブロードウェイで絶賛を浴び、1987年には映画化もされた作品です。
作者ライル・ケスラーは、ニューヨーク、ロスアンゼルスを中心に、演劇の持つ創造性を使って、リスクを負っている子どもたち、精神治療を必要とする患者、ホームレスの人たちとのワークショップを30年以上に渡って行い、閉ざされた心を開いていく活動を実践しています。
この作品も、そこで得た経験を通じて描かれたものです。

東京演劇集団 風は1991年に原題「孤児たち」でこの作品を初演しました。
翌年1992年からは全国巡演公演を開始し、「Touch～触れること」に焦点をあて、『Touch～孤独から愛へ』とタイトルを変更。
初演から延べ50万人もの子どもたちが、この作品と出会い、お互いに影響を受けながら育てられた作品です。



Story

北フィラデルフィアのアパートの一室。
アレルギーの発作でほとんど外に出られない弟フィリップと、不良の兄トリート、2人の孤児の兄弟が暮らしている。ある日、2人の前に現れた謎の紳士ハロルド。ハロルドは彼らを「デット・エンド・キッド（行き止まりの子どもたち）」と呼び、「元気づけてあげよう」と手を差し伸べる。
次第に心を開いていくフィリップ、それとは対照的に触れ合いを拒絶するトリート。「孤児」である3人の出会いが、孤独を抱えながらも、真剣に相手と向き合うことで、新たな一歩を発見していく。

[出演]
東京演劇集団風
舞台手話通訳 …… 小島祐美
音声ガイドナレーター … 辻由美子

[スタッフ]
音楽 …… 八幡茂
舞台美術 …… 水野統夫
照明 …… 坂野貞也

バリアフリー演劇について

バリアフリー演劇は障がいの有無に関わらず誰もが演劇を楽しめるよう舞台手話通訳・字幕・音声ガイドなどの情報保障を取り入れた舞台演劇です。

- 開演前の舞台説明
サポート内容、舞台装置や広さなどを説明、出演者が役柄や衣装を紹介します。
- 舞台上での手話通訳
物語の進行に合わせて舞台上を動きながら通訳を行います。
- バリアフリー字幕の表示(日本語)
舞台中央に日本語字幕を投影します。
- 音声ガイド(日本語)
上演中場内のスピーカーから客席全体に流れます。
- 開場後の舞台見学可能
開演前と終演後に、舞台上で俳優の衣装や舞台装置に触れることができます。

浦安市文化会館 小ホール

〒279-0004 千葉県浦安市猫実1丁目1番2号

チケット販売/お問合せ

浦安市文化会館 TEL.047-353-1121
浦安市民プラザ Wave101 TEL.047-350-3101